

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	介護保険給付事務	2-41
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	村上 弘晃

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	要介護(支援)認定者が介護サービスを利用した際に、その費用の9割を市町村が負担する。		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	その他	
	施策コード	20204	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	介護保険の給付を適正かつ迅速に行なう。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	介護サービスにかかる費用について給付を行うために会計等の管理を行う。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	介護サービス事業者が行なったサービスの請求に対し、介護保険報酬の9割を給付する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	介護保険法に基づき全国で同様の事務が行われている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)				
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	2,486	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	2,590	2,486	2,691	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.30	0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入						出					
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
サービス受給者数 (目標値はケアプラン作成延べ件数)	目標値	11,400	11,787	12,031	12,321
	実績値	10,117	10,233	10,456	
	達成率	88.7	86.8	86.9	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
介護給付費支給実績 (目標は介護保険計画における計画値)	目標値	2,972,059	2,962,095	3,092,975	3,179,944
	実績値	2,814,582	2,930,869	3,112,492	
	達成率	94.7	98.9	100.6	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1 2 3
イ 市の関与 その事業に市が関与の必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	(1)~(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。	
(3) 公平性		7~11	A or B
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		10	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		介護保険法に基づく給付事業であり、適切に事業を実施した。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		適切な執行体制を確保しながら継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		適切に給付事務を実施している。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		給付費の増加に伴う事務量に対応できる体制を確立していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長 (もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		